

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 総務部

所属名 大学私学課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
私立高等学校教育振興補助金	1 子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	昭和27年度		2,378,532		338,703		2,039,829	継続
㊦私立高等学校等就学支援事業	4 こども・子育てのよろこびを次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	平成22年度		3,189,357		2,302,357		887,000	拡充
私立専門学校地域人材育成支援事業	1 子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度		18,825		2,800		16,025	継続
公立大学法人福井県立大学運営費交付金	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	平成19年度		3,377,447		15,656		3,361,791	継続
大学連携センター運営事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	平成28年度		13,468				13,468	継続
高等教育修学支援事業	4 こども・子育てのよろこびを次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和2年度		479,462		68,609		410,853	継続
未来協働プラットフォームふくい推進事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和4年度	令和8年度	113,913		18,038		95,875	継続
県立大学地域政策学部開設事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和7年度	令和8年度	1,470,534			1,470,000	534	継続
県内大学等への進学者応援事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和7年度	令和10年度	84,057		84,057			継続
県内大学等(工学部系)における県内就職促進事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和7年度	令和9年度	40,000		20,000		20,000	継続
県立大学恐竜学部開設事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和4年度	令和7年度						完了
県立大学「Global Gateway(仮称)」事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和7年度	令和8年度	185,122			185,000	122	継続
					11,350,717		2,850,220	1,655,000	6,845,497	

		総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	昭和27年度
私立高等学校教育振興補助金				事業終了年度	
事業目的	私立高等学校の経常費助成により、私立高等学校の経営の健全性を高めるとともに、その教育内容の充実や特色ある学校づくりの推進を図り、県内における私学の教育条件の維持・向上を図る。				
事業内容	人件費・物件費等の経常的経費に対する補助 私立高等学校の取組み等に対して補助 (1) 教育改革推進加算 (2) 学力向上・スポーツ・文化振興加算 (3) 地元定着貢献加算				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,378,532		338,703		2,039,829
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内高校生の県内大学進学率 (%)	40.0%		
	活動指標				
事業評価	私立学校の健全な運営を維持するとともに、特色ある学校づくりを支援することができた。 <事業実績> 7年度の県内高校生の県内大学進学率は令和8年8月頃に確定する予定 経常費助成が主たる目的のため、活動指標は設定しない				
区分	継続				

	総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
4	こども・子育てのよろこびを次世代につなぐ「ふく育県」の推進		事業開始年度	平成22年度	
	㊦私立高等学校等就学支援事業		事業終了年度		
事業目的	私立高等学校等に通う生徒の教育費負担を軽減する				
事業内容	(1) 世帯の所得状況に関わらず、就学支援金を支給（国制度） 全世帯の授業料を無償化（補助上限額を45万7,200円に引き上げ） (2) 就学支援金に加え、低所得世帯の施設設備費等を各学校が減免した経費を補助（県制度） 年収590万円未満世帯の施設設備費等を年収に応じ段階的に支援 (3) 就学支援金支給事務費の交付				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,189,357		2,302,357		887,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	定員充足率（%）	100%	105.7%	
	活動指標	支給者数（人）	5,656	6,337	前年度の支給実績を指標とする
事業評価	対象となる世帯に必要な支援を行うことにより、修学の機会を確保することができた。				
区分	拡充				

	総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和2年度	
	私立専門学校地域人材育成支援事業		事業終了年度		
事業目的	県内私立専門学校では、企業実習など実践的な職業教育を通して高度な人材の育成を行っている。その優れた人材が県外に流出することを抑制するため、地元企業との連携による実践的な職業教育の取組みやより魅力ある学校となるような意欲的な入学者確保の取組みに応じて支援を行い地域産業発展に貢献する人材の育成力を強化する。				
事業内容	私立専門学校の入学者確保に係る取組みや、県内企業への就職実績等に応じて補助する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	18,825		2,800		16,025
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	卒業生の県内就職率（%）	80%		
	活動指標	入学者確保・県内就職促進・人材育成等のための事業を実施	4	4	各校4事業以上
事業評価	地域人材を育成する事業等に対し、支援することができた。今年度から県内定着をより促進するために就職実績に応じた加算を拡充。 県内就職率については、毎年、75%～80%で推移している。 <事業実績> 7年度の卒業生の県内就職率は8年度の4月頃確定予定				
区分	継続				

		総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
2 ふくいの産業・社会を支える人づくり				事業開始年度	平成19年度
公立大学法人福井県立大学運営費交付金				事業終了年度	
事業目的	県立大学の経営の一層の効率化を図るとともに、第4期中期目標・中期計画（令和7年度～12年度）に基づき、地元の産業に貢献する人材育成、研究成果の地域への還元など、地域貢献を一層促進する。				
事業内容	標準運営費交付金 ・標準的に大学運営に必要な人件費および物件費 特定運営費交付金 ・グローバル化に対応できる人材育成、研究成果の地域への還元など、中期目標・中期計画を推進する経費				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,377,447		15,656		3,361,791
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内出身者の入学割合（%）	50	45.2	令和7年度
	活動指標	海外派遣者数（人）	100		新規事業に合わせて新たに目標設定
事業評価	県内入学率について、目標未達 地元受入枠（推薦入試）の拡充や新学部（地域政策学部）の創設など、県内生の確保に引き続き取り組む。 <事業実績> 7年度海外派遣者数は8年度5月頃に確定する予定				
区分	継続				

	総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり		事業開始年度	平成28年度	
	大学連携センター運営事業		事業終了年度		
事業目的	県都中心部において学生が集い・学ぶための拠点”大学連携センター”の運営を支援し、県内大学が教養科目の共同開講や学生の県内定着促進を図る。				
事業内容	(1) 大学連携センターの運営 活動内容 ①地域志向科目の共通開講（大学が実施）②県内高校から県内大学への進学強化（大学生による進学サポート、県内高校への合同出張講義、高校生対象の先取り履修） ③県内就職の促進 ④学生の地域活動、大学間交流の推進 ⑤施設管理（講義室、共同スペースの管理） (2) 学生の通学応援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	13,468				13,468
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	Fスクエア利用者数（人）	5500		
	活動指標	開講科目数	30	59	前・後期15科目ずつ
事業評価	共通講義の開講高校生への開放などより利用促進を進めたほか、県内大学への進学促進のための各種事業を行い、県内進学への進学意識を高める取組みを行った。				
区分	継続	<事業実績> ・共通講義：前期30科目、後期29科目開講 ・ふくいプレカレッジの開催：42講座 参加高校生443人 7年度のFスクエア利用者数は8年度4月頃確定予定			

	総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
4	こども・子育てのよろこびを次世代につなぐ「ふく育県」の推進		事業開始年度	令和2年度	
高等教育修学支援事業			事業終了年度		
事業目的	家庭の経済状況に関わらず、高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校、専門学校）に進学できるチャンスを確保できるよう、国の高等教育の修学支援新制度により、県内高等教育機関進学者に対する経済的支援を行う。また、県内高等教育機関に進学する子を持つ県内の2人扶養世帯の経済的負担を軽減し、安心して子供を産み育てる環境を構築する。				
事業内容	(1) 国の高等教育修学支援新制度 国制度により、学生の世帯の所得状況に応じ、学校等が減免する授業料等に対し、授業料等減免負担金を各学校に交付 (2) 2人扶養世帯の県内高等教育機関の授業料減免制度 国の高等修学支援制度における授業料減免に関して、県内高校から県内高等教育機関進学者を対象に、福井県独自の上乗せ支援を実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	479,462		68,609		410,853
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	大学等への県内進学率 (%)	40		
	活動指標	支給者数 (人)	590		前年度の支給実績を指標とする
事業評価	対象となる世帯に必要な支援を行うことにより、修学の機会を確保することができた。 <事業実績> 7年度の大学等への県内進学率の実績は、8年度5月頃、支給対象者数の実績は7年度3月末に確定する予定				
区分	継続				

		総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度
1	個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり			事業開始年度	令和4年度
未来協働プラットフォームふくい推進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	大学は、地域の「知の拠点」として、高等教育の機会確保や地域社会で活躍する人材育成を担う重要な機関である。今後、大学が持つ人材育成機能に加え、大学の知的・人的リソースを地域課題の解決や地域経済の発展に積極的に役立てる ことにより、本県の地方創生の取組みを加速させる。				
事業内容	(1) 未来協働プラットフォーム会議の開催 (2) 実行部門会議の運営 (3) 各大学の魅力や特色を高める取組みへの支援 (4) 県内企業の課題解決など地域に根差したPBL・共同研究への支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	113,913		18,038		95,875
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内高校卒業生の県内大学進学率 (%)	40		
	活動指標	未来協働プラットフォーム会議の開催	11	10	
事業評価	課題ごとに設けられた6つの部会ごとに議論を重ね、課題解決に向けて各事業を進めた。また、座談会を行うなど、新たな取組みも実施し広報も強化した。 <主な事業実績> ・リスキリングプログラム（部門1）：20講座開催 ・中小企業対象採用力向上セミナー（部門4）：3回開催 ・Feei Fukui's Fun事業（部門5）：3回開催 参加高校生54名 ・一日医療系大学生体験（部門6）：11回開催 参加高校生110名 7年度の県内高校卒業生の県内大学進学率は、8年度5月頃確定予定				
区分	継続				

		総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度
1	個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
2	ふくい産業・社会を支える人づくり			事業開始年度	令和7年度
県立大学地域政策学部開設事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	地域のリーダー的人材を養成するため、地域の持続的発展に欠かせない「地域のイノベーション創出」について体系的に学ぶ全国初の新学部「地域政策学部」を開設する。				
事業内容	AOSSA（福井市手寄）内にキャンパスを設置 令和7年度 実施設計 令和8年度 工事				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,470,534			1,470,000	534
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内出身者の入学割合 (%)	50	45.2	令和7年度
	活動指標	—	—	—	
事業評価	実施設計が完了 <成果指標・活動指標> ハード整備が目的の事業であるため、活動指標は設定しない。				
区分	継続				

	総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり		事業開始年度	令和7年度	
	県内大学等への進学者応援事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	<p>高校卒業時に、県外へ進学する割合が多く、進学者の約7割を占める。県内進学者の約8割は県内に就職する一方、県外進学者については、本県にUターンする割合は約3割にとどまる。特に嶺南地域の学生は、関西地域への進学を選択する傾向にあるため、県内進学の後押しとなるように経済的な側面を応援し、県内大学進学者数の増加を図りたい。</p>				
事業内容	<p>(1) 県内大学等への進学者応援事業補助金 自宅から県内大学まで通学にかかる交通費(公共交通利用者)や家賃(一人暮らし)を支援 (2) 県内大学等への進学者応援事業事務局運営費 (3) 県内大学等への進学者応援事業制度の広報活動</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	84,057		84,057		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	大学等への県内進学率 (%)	40		
	活動指標	支給者数 (人)	—		前年度実績値を目標とする
事業評価	<p>現役大学生に加え、県内進学後押しのため、保護者層や高校生への積極的に広報しながら事業を実施した。</p> <p><事業実績> 7年度の大学等への県内進学率の実績は、8年度5月頃、支給者数の実績は7年度3月末に確定する予定。</p>				
区分	継続				

		総務部	大学私学課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
2 ふくいの産業・社会を支える人づくり				事業開始年度	令和 7年度
県内大学等（工学部系）における県内就職促進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県内大学の工学部を中心に、卒業後に県外企業に就職する学生が多く、県ものづくり企業等（製造業等）において人材の確保が急務。将来にわたり、ものづくり企業等の人材の確保を図っていくため、県内大学の工学部系が行う県内就職増に資する取組みを支援し、県内就職増を図る。				
事業内容	県内大学の工学部系（福井大学工学部、福井工業大学、福井高専）が行う県内就職増に資する取組みを支援 ①県内就職増につなげるための「教育プログラム」の作成等を行う「専門の教職員等」を新たに雇用・配置 ②活動経費（広報費、外部講師謝礼等）				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	40,000		20,000		20,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内就職率（％）	55		
	活動指標	教育プログラムの作成数	3	3	
事業評価	専門の教職員を雇用し、県内企業への就職促進に向けた取組みに着手開始した。 <事業実績> 実施大学： 福井大学、福井工業大学、福井高専 主な実施内容： ・学内に県内企業紹介コーナーの設置 ・県内企業の見学、県内企業との連携授業の必修化 など 7年度の県内就職率は、8年度の5月頃確定予定				
区分	継続				

		総務部	大学私学課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
2 ふくいの産業・社会を支える人づくり				事業開始年度	令和4年度
県立大学恐竜学部開設事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	県下全域におよぶ学びの環境を活かし、恐竜学や地質・古気候学などを学ぶ恐竜学部を開設する。				
事業内容	恐竜博物館（勝山市）の旧第三駐車場に新学部棟を設置 令和4年度 基本設計、地質調査 令和5年度 実施設計 令和6年度～ 工事 令和8年4月 供用開始				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,484,117			2,909,000	575,117
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内出身者の入学割合（%）	50	45.2	令和7年度
	活動指標	—	—	—	
事業評価	令和8年3月 恐竜学部棟建設工事完了 <成果指標・活動指標> ハード整備が目的の事業であるため、活動指標は設定しない。				
区分	完了				

	総務部	大学私学課	事業年度	令和7年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり		事業開始年度	令和7年度	
	県立大学「Global Gateway（仮称）」事業		事業終了年度	令和8年度	
事業目的	国際化を推進するための拠点を整備し、実践的な語学力の強化や学生の海外派遣を促進するとともに、海外の大学や企業の海外拠点等との交流・連携を進め、グローバル人材を育成する。				
事業内容	県立大学交流センター内に「Global Gateway」を整備 AI英会話等を行うアクティブラーニングゾーンや学生や留学生が交流を深める交流ゾーン、外国人留学生の常時相談対応などを行う留学生サポートゾーンを整備				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	185,122			185,000	122
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	海外留学・海外研修等への参加学生数（％）	100	80	目標値は2028～2030年度年平均
	活動指標	—	—	—	
事業評価	令和8年2月末 実施設計完了 ＜成果指標・活動指標＞ ハード整備が目的の事業であるため、活動指標は設定しない。				
区分	継続				